

## (5) 亜熱帯地域におけるスッポンの養殖技術の研究 - I 養成飼育の最適密度と最適投餌量について

金本自由生、照屋忠敬

本研究の結果については、概に、水産増殖、25巻3号、79~83頁(1977)に報告してあるので要約のみ記す。

スッポンの池中養殖の場合の密度と投餌方法等について若干の試験を行い次の事が解った。

1. 一般に低密度の方が日間増重率はよいが1㎡当りの増重量は少ない。
2. 高密度の場合、投餌率を倍にしても日間増重率はあまり変化しない。
3. 1日1回投餌より1日2回投餌の方が、総投餌量が同じでも成長が良い。
4. 低投餌率2回投餌が餌料転換効率が良く、高投餌率1回投餌が悪かった。
5. 水温の低下によって残餌が多くなった。
6. 以上の事により少なくとも、1kg/㎡以上の密度で、低投餌率多回投餌による養殖が一番効率が良いと思われる。

本誌に掲載された論文の多くは、その内容が非常に興味深いものである。特に、本誌に掲載された論文の中には、その内容が非常に興味深いものである。特に、本誌に掲載された論文の中には、その内容が非常に興味深いものである。

昭和五十二年四月一日

昭和五十二年四月一日

昭和五十二年四月一日